

- 4) 吉江弘正, 久保田健彦, 両角俊哉: 歯周病学・歯周治療 —講演・歯周外科実習—. 徳真会グループスキルアップ研修, 新潟, 2017年11月17日.
- 5) 吉江弘正: 歯周治療 40年で変わったこと. 新潟大学歯学部同窓会群馬県支部 冬期学術講演会, 群馬, 2017年12月10日.
- 6) 奥田一博: 培養骨膜シートおよび培養骨膜細胞による歯周組織・顎骨の再生療法と今後の課題. 第23回産学連携フォーラム, 京都, 2017年12月15日.
- 7) 吉江弘正: 歯周治療 40年で変わったこと. 新潟コムデント 学術講演会, 新潟, 2018年1月20日.
- 8) 吉江弘正: 歯周病学と共に: 41年の歩みとメッセージ. 最終講義, 新潟, 2018年2月8日. 吉江弘正: 歯周病学と共に: 19年の歩みと評価. 吉江弘正教授退職記念講演, 新潟, 2018年3月3日.
- 5) Ohkura N, Edanami N, Takeuchi R, Tohma A, Ohkura M, Yoshiba N, Yoshiba K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Okiji T, Noiri Y: Effects of pulpotomy using mineral trioxide aggregate on prostaglandin transporter and receptors in rat molars. *Sci Rep* 7(1): 68-70, 2017.
- 6) Madachi K, Takagi R, Oominato R, Kodama Y, Iida A, Ono K, Asahito T, Saito I: Cephalometric Evaluation after Two-Stage Palatoplasty Combined with Hotz's plate: A comparative study between modified Furlow's and Widmaier-Perko's methods. *Int J Oral Maxillofac Surg* 46(5): 539-547, 2017.
- 7) Kurabe K, Kojima T, Kato Y, Saito I, Kobayashi T: Impact of orthognathic surgery on oral health-related quality of life in patients with jaw deformities. *Int J Oral Maxillofac Surg* 45(12): 1513-1519, 2016.
- 8) Akiba Y, Mizuta A, Kakihara Y, Nakata J, Nihara J, Saito I, Egusa H, Saeki M: The inhibitors of cyclin-dependent kinases and GSK-3 $\beta$  enhance osteoclastogenesis. *Bioche Biophys Rep* 5: 253-258, 2016.
- 9) 佐藤知弥子, 八巻正樹, 渡辺和子, 八木 稔, 齋藤 功: 歯列に対する自己評価および客観的評価と矯正歯科治療の動機づけとの関連性. *Orthod Waves-Jpn Ed* 76(1):17-29 頁, 2017.
- 10) 高橋功次郎, 丹原 惇, 森田修一, 小林正治, 池田順行, 林 孝文, 齋藤 功: 偏位を伴う骨格性下顎前突症例のセファロメトリックプレディクションにおける下顎後退量の左右差と正中部移動量との関係. *日顎変形誌* 27 (1) : 1-7 頁, 2017.
- 11) 石井一裕, 南 昌宏, 竹山雅規, 吉澤真由美, 船登彰芳, 古里美幸, 林田拓也, 石井進子: 矯正治療と審美修復治療により改善した保存不可能な上顎両側中切歯を伴う叢生症例. *甲北信越矯歯誌* 25 (1) : 30-36 頁, 2017.
- 12) 越知佳奈子, 山添清文, 齋藤 功: 先天性欠如歯を伴う成人 Angle Class II 上顎前突症例. *甲北信越矯歯誌* 25(1) : 37-44 頁, 2017.
- 13) 渡邊直子, 三上俊彦, 小林正治, 齋藤 功: 基底細胞母斑症候群をともなう患者の矯正歯科治療例. *新潟歯学会誌* 47(2) : 87-95 頁, 2017.

## 歯科矯正学分野

### 【著 書】

- 1) 齋藤 功: 顎変形症における顎矯正手術施行前後の形態的・機能的様相. 歯界展望 2017年特別号 歯科医療 未来と夢, 124 頁, 医歯薬出版, 東京, 2017.
- 2) 齋藤 功: 矯正歯科関連用語. 歯科衛生士のためのポケット版・最新歯科衛生士用語辞典(栢 豪洋 他編), クインテッセンス出版, 東京, 2016.

### 【論 文】

- 1) Kitami K, Kitami M, Kaku M, Wang B, Komatsu Y: BRCA1 and BRCA2 tumor suppressors in neural crest cells are essential for craniofacial bone development. *PLoS Genet*. 2018. (in press)
- 2) Ohkura M, Ohkura N, Yoshiba N, Yoshiba K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Saito I, Okiji T: Orthodontic force application upregulated pain-associated prostaglandin-I2/PGI2-receptor/TRPV1 pathway-related gene expression in rat molars. *Odontology* 106: 2-10, 2018.
- 3) Kamimura R, Hossain MZ, Unno S, Ando H, Masuda Y, Takahashi K, Otake M, Saito I, Kitagawa J: Inhiition of the degrading of 2-arachydonoylglycerol (2-AG) attenuated orofacial neuropathic pain following an injury to the trigeminal nerve in mice. *J Oral Sci*, 2018. <https://doi.org/10.2334/josnusd.17-0005>
- 4) Susami T, Fukawa T, Miyazaki H, Sakamoto T, Morishita T, Sato Y, Kinnno Y, Kurata K, Watanabe K, Asahito T, Saito I: A Survey of Orthodontic Treatment in

### 【研究費獲得】

- 1) 齋藤 功, 丹原 惇, 高橋功次郎: ジェネレーティブデザインを応用した顎偏位形態予測と顎偏位軽

減治療システムの確立. 平成 29 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C) : 17K11935, 2017.

- 2) 竹山雅規, 齋藤 功, 丹原 惇, 高橋功次朗: 矯正呼吸器内科連携による閉塞性睡眠時無呼吸発症・重症化リスク予測システムの開発. 平成 29 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C) : 17K12042, 2017.
- 3) 福井忠雄, 齋藤 功, 堀 一浩: 舌圧と顎顔面筋活動を指標とした開咬症の機能的診断法の確立. 平成 29 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C) : 17K11952, 2017.
- 4) 越知佳奈子, 齋藤 功, 齋藤 功: 機械学習理論を実装した顎変形症診断支援データベースシステムの開発とその臨床応用. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 26463091, 2016.
- 5) 大竹正紀: 加齢に伴う三叉神経領域における異常疼痛の発症機序の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究 (B), 15K20639, 2016
- 6) 高橋功次朗: 口唇閉鎖機能の定量化による新治療目標への臨床応用. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究 (B), 17K17319, 2017.
- 7) 大倉麻里子: 矯正的歯の移動におけるプロスタグランジン I<sub>2</sub> に着目した疼痛メカニズム解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 16H06818, 2017
- 8) 上村藍太郎: 内因性カンナビノイド (2-AG) が関わる鎮痛作用の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 17H06693, 2017.
- 9) 北見公平: 歯根膜の部位特異的な組織応答を制御する新たなメカノトランスダクション機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 17H06698, 2017.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) Fukui T: Effectiveness of temporary anchorage device for orthodontic treatment for various malocclusions. 9th World Implant orthodontic congress, Kobe, Japan, July 1-3, 2017.
- 2) Saito I: Effective application of temporary anchorage devices to complicated cases such as high mandible open bite and/or case with mandibular molar protraction. 117th Annual Session of the Americal Association of Orthodontists, San Diego, USA, April 21-25, 2017.
- 3) 齋藤 功: 新潟大学における外科的矯正治療の実践—形態的・機能的研究を交え—。第 10 回木真会記

念講演会 (昭和大学歯学部歯科矯正学講座同門会), 東京, 2018 年 2 月 12 日.

- 4) 齋藤 功: 口唇裂・口蓋裂治療の現況—新潟大学歯学部総合病院での実践を踏まえ—。鶴見歯学会・鶴見大学歯学部矯正歯科学講座同門会共催特別講演会, 横浜, 2017 年 12 月 7 日.
- 5) 齋藤 功, 宮澤 健: 臨床セミナー 1 「埋伏歯の診断と治療」コーディネーター. 第 76 回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2017 年 10 月 18 日-20 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 99-101 頁, 2017.
- 6) 丹原 惇: 歯科矯正用アンカースクリューを用いた治療メカニクス. 第 32 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2017 年 7 月 9 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 20-21 頁, 2017.
- 7) 福井忠雄, 坂上 馨, 篠倉千恵, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における術前後の嚙下機能変化. シンポジウム 2 「外科的矯正治療による顎口腔機能変化について」. 第 27 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2017 年 6 月 15 日-16 日: 日顎変形誌 27 (2) : 72-73 頁, 2017.
- 8) 齋藤 功, 高橋 哲: 特別講演 「Current concepts in sequenceing and timing of orthodontic and surgical treatment in patients with cleft lip and palate」コーディネーター. 第 41 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2017 年 5 月 18 日-19 日, 日口蓋誌 42 (2) 抄録号: 44-45 頁, 2017.
- 9) 齋藤 功, 楠本健司: 「初学者のためのセミナー」コーディネーター・座長. 第 41 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2017 年 5 月 18 日-19 日, 日口蓋誌 42 (2) 抄録号: 77-80 頁, 2017.
- 10) 丹原 惇, 齋藤 功: 口蓋形成 2 回法: 新潟大学/矯正 (成長) 分野. シンポジウム III 「長期結果からみた各チーム医療の現状と展望 (乳児から成人まで)」. 第 41 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2017 年 5 月 18 日-19 日, 日口蓋誌 42 (2) 抄録号: 62 頁, 2017.

#### 【学会発表】

- 1) Kamimura R, Takahashi K, Saito I, Yamamura K: Involvement of the 2-Arachidonoylglycerol(2-AG) in attenuation of neuropathic pain following an injury to the trigeminal nerve in mice. The 11th Asian Pacific Orthodontic Conference. Boracay, Philippines, March 5-7, 2018,
- 2) Asai Y, Hasebe D, Saito I, Kobayashi T: Changes of nasal and oronasopharyngeal airway morphologies and nasal respiratory function following orthognathic surgery. The 56th congress of the Korean association of

- maxillofacial plastic and reconstructive surgeons. Seoul, Korea, November 3-4, 2017.
- 3) Nakata J, Akiba Y, Eguchi K, Nihara J, Saito I, Kakiyama Y, Saeki M: The effect of ROCK inhibitor on bone remodeling. 2017 ASBMR Annual Meeting, Denver, USA, September 8-11, 2017, S229, ASBMR 2017 Annual Meeting Abstract FOR WEB.
  - 4) Murakami T, Fukui T, Nishiyama H, Saito I : An investigation into the relationship between mandibular fossa and mandibular morphology in mandibular prognathism with facial asymmetry. The 93rd Congress of the European Orthodontic Society. Montreux, Switzerland, June 5-10, 2017.
  - 5) 丹原 惇, 高橋功次朗, 大貫尚志, 児玉泰光, 新美奏恵, 高木律男, 齋藤 功:小児期における上唇小帯切除術および舌小帯進展術に関する臨床統計調査. 第 29 回一般社団法人日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 新潟, 2017 年 11 月 18 日, 小児口外 27(2), 95 頁, 2017.
  - 6) 中田樹里, 柿原嘉人, 秋葉陽介, 江口香里, 丹原 惇, 大倉麻里子, 加藤寛子, 泉 健次, 佐伯万騎男, 齋藤 功 : ROCK 阻害剤の骨代謝および矯正学的歯の移動への影響. 平成 29 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2017 年 11 月 11 日, 新潟歯学会雑誌 47(2): 120 頁, 2017.
  - 7) 村上智子, 福井忠雄, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功 : 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症例における側頭骨と下顎骨形態についての検討. 平成 29 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2017 年 11 月 11 日, 新潟歯学会雑誌 47(2): 125 頁, 2017.
  - 8) 阿部 遼, 福井忠雄, 坂上 馨, 小林太一, 林孝文, 齋藤 功: 超音波診断装置を用いた骨格性下顎前突症患者の嚥下時舌運動様態の検討. 平成 29 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2017 年 11 月 11 日, 新潟歯学会雑誌 47(2): 125-126 頁, 2017.
  - 9) 網谷季莉子, 竹山雅規, 丹原惇, 高橋功次朗, 大嶋康義, 小林正治, 齋藤 功: 閉塞性睡眠時無呼吸症の重症度と顎顔面形態、性別、年代ならびに BMI との関連. 第 16 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 岩国, 2017 年 11 月 3 日-4 日, 睡眠口腔医学 4(1): 82 頁, 2017.
  - 10) 栗原加奈子, 福井忠雄, 坂上 馨, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 成人前歯部開咬症の舌突出が嚥下時舌圧発現様相に与える影響. 第 76 回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2017 年 10 月 18 日-20 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 139 頁, 2017.
  - 11) 村上智子, 福井忠雄, 西山秀昌, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症例における下顎窩と下顎骨形態の関連性の検討. 第 76 回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2017 年 10 月 18 日-20 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 147 頁, 2017
  - 12) 大森裕子, 丹原 惇, 高橋功次朗, 森田修一, 齋藤 功: Angle Class I 上下顎前突と Angle Class II 上顎前突における矯正歯科治療前後の赤唇形態変化の比較. 第 76 回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2017 年 10 月 18 日-20 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 150 頁, 2017.
  - 13) 藤田 瑛, 丹原 惇, 池真樹子, 齋藤 功: 有限要素を用いた顎偏位を伴う骨格性下顎前突症例の顎骨内応力解析. 第 76 回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2017 年 10 月 18 日-20 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 153 頁, 2017
  - 14) 上村藍太郎, 山村健介, 齋藤 功: 内因性カンナビノイド分解酵素阻害剤を用いた口腔顔面領域の神経障害性疼痛における鎮痛効果の検討. 第 76 回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2017 年 10 月 18 日-20 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 166 頁, 2017.
  - 15) 大倉麻里子, 大倉直人, 野杵由一郎, 丹原惇, 藤田 瑛, 齋藤 功: 矯正学的歯の移動における prostaglandin I<sub>2</sub> 合成酵素の発現解析と 3 次元応力集中分布解析. 第 76 回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2017 年 10 月 18 日-20 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 183 頁, 2017.
  - 16) 中田樹里, 柿原嘉人, 丹原 惇, 佐伯万騎男, 齋藤 功: ROCK 阻害剤による骨形成促進メカニズムの解析. 第 76 回日本矯正歯科学会学術大会, 2017 年 10 月 18 日-20 日, 札幌, 同学術大会プログラム・抄録集: 184 頁, 2017.
  - 17) 新島綾子, 森田修一, 工藤武久, 高橋功次朗, 丹原 惇, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: クラスタ分析による骨格性下顎前突症例の正貌パターンにおける臨床統計調査. 第 76 回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2017 年 10 月 18 日-20 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 217 頁, 2017
  - 18) 西野和臣, 市川佳弥, 山添佳奈子, 丹原 惇, 森田修一, 齋藤 功: 矯正治療前後における下顎槽部形態の三次元的変化について. 第 76 回日本矯

- 正歯科学会学術大会, 札幌, 2017年10月18日-20日, 同学術大会プログラム・抄録集: 248頁, 2017.
- 19) 網谷季莉子, 竹山雅規, 丹原 惇, 高橋功次朗, 大嶋康義, 小林正治, 齋藤 功: 閉塞性睡眠時無呼吸患者における重症度と側面セファログラム分析項目との相関について. 第76回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2017年10月18日-20日, 同学術大会プログラム・抄録集: 268頁, 2017.
  - 20) 山田秀樹, 寺田康子, 竹山雅規, 齋藤 功: 3本の先天性欠如に対し歯胚移植を併用して治療した症例の長期経過. 第76回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2017年10月18日-20日, 同学術大会プログラム・抄録集: 297頁, 2017.
  - 21) 中田樹里, 秋葉陽介, 江口香里, 丹原 惇, 齋藤 功, 柿原嘉人, 佐伯万騎男: ROCK阻害剤の骨代謝への影響とその作用機序の解析. 第35回日本骨代謝学会学術集会, 福岡, 2017年7月27日-29日, 同学会学術集会プログラム抄録集: 184頁, 2017.
  - 22) Kamimura R, Mohammad HZ, Unno S, Ando H, Masuda Y, Takahashi K, Otake M, Kitagawa J: Involvement of the endocannabinoid (2-Arachidonoylglycerol) in inhibition of neuropathic pain following an injury to the trigeminal nerve in mice. 第40回日本神経科学大会, 幕張, 2017年7月20日-23日, 抄録集: 248頁, 2017.
  - 23) 竹山雅規, 小栗由充, 大森裕子, 芳澤享子, 齋藤功: 歯の移植を併用した過蓋咬合症例の長期経過. 第32回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2017年7月9日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 34頁, 2017.
  - 24) 佐藤知弥子, 八巻正樹, 渡辺和子, 八木 稔, 齋藤 功: 歯列に対する自己評価および客観的評価と矯正歯科治療の動機づけとの関連性. 第32回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2017年7月9日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 37頁, 2017.
  - 25) 坂上 馨, 竹山雅規, 齋藤 功: 叢生を伴うAngle Class I 上下顎前突症例: 第32回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2017年7月9日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 43頁, 2017.
  - 26) 佐藤知弥子, 八巻正樹, 齋藤 功: 上下顎両側第一小臼歯の鉤状咬合を伴うAngle Class I 叢生症例. 第32回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2017年7月9日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 44頁, 2017.
  - 27) 大倉麻里子, 越知佳奈子, 齋藤 功: 下顎骨軽度右方偏位を伴う Angle Class III 叢生症例. 第32回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2017年7月9日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 45頁, 2017.
  - 28) 西野和臣, 福井忠雄, 齋藤 功: Angle Class II 叢生症例. 第32回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2017年7月9日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 46頁, 2017.
  - 29) 高橋功次朗, 竹山雅規, 齋藤 功: 下顎骨左方偏位を伴うAngle Class I 上顎前突症例. 第32回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2017年7月9日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 47頁, 2017.
  - 30) 丹原 惇, 高橋功次朗, 齋藤 功: 叢生を伴うAngle Class II 上顎前突症例. 第32回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2017年7月9日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 48頁, 2017.
  - 31) 大竹正紀, 森田修一, 齋藤 功: 上顎切歯の唇側傾斜を伴うAngle Class II division 1 上顎前突症例. 第32回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2017年7月9日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 50頁, 2017.
  - 32) 眞館幸平, 齋藤 功: 下顎骨右方偏位と叢生を伴うAngle Class II subdivision 歯性上下顎前突症例. 第32回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2017年7月9日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 51頁, 2017.
  - 33) 新島綾子, 森田修一, 工藤武久, 高橋功次朗, 丹原 惇, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症例における正貌パターンの臨床統計. 第27回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2017年6月15日-16日, 日顎変形誌27(2): 36頁, 2017
  - 34) 原 太一, 小田陽平, 西野和臣, 丹原 惇, 齋藤 功, 小林正治: 非接触型3D画像撮影装置とCTを用いた顔面形態分析手法の検討. 第27回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2017年6月15日-16日, 日顎変形誌27(2): 96頁, 2017.
  - 35) 池田順行, 小野和宏, 阿部裕子, 丹原 惇, 新島綾子, 小玉直樹, 高木律男: 顎矯正手術を行ったビスフォスフォネート製剤を内服する顎変形症の1例. 第27回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2017年6月15日-16日. 日顎変形誌27(2), 118頁, 2017
  - 36) 大澤知朗, 丹原 惇, 新島綾子, 高橋功次朗, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 側面頭部エックス

線規格写真を用いた骨格性下顎前突症患者における下顎骨形態のクラスター分析. 第27回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2018年6月15日-16日, 日顎変形誌27(2):127頁, 2017.

- 37) 阿部 遼, 福井忠雄, 坂上 馨, 林 孝文, 齋藤 功: 超音波診断装置を用いた個性正常咬合者と骨格性下顎前突症患者の嚙下時舌運動の比較. 第27回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2017年6月15日-16日, 日顎変形誌27(2):157頁, 2017.
- 38) 栗原加奈子, 福井忠雄, 坂上 馨, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 成人前歯部開咬症における嚙下時舌圧発現様相の検討-健常者との比較-. 第27回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2017年6月15日-16日, 日顎変形誌27(2), 157頁, 2017.
- 39) 市川佳弥, 丹原 惇, 高橋功次朗, 朝日藤寿一, 森田修一, 児玉泰光, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂患者における骨架橋の状態と顎裂部に排列した犬歯歯軸傾斜の検討. 第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2017年5月17日-18日, 日口蓋誌42(2):141頁, 2017.
- 40) 丹原 惇, 高橋功次朗, 市川佳弥, 眞舘幸平, 朝日藤寿一, 森田修一, 児玉泰光, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 矯正単独で最終咬合治療を開始した完全唇顎口蓋裂の第二期動的矯正治療開始時の側面セファログラム分析. 第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2017年5月17日-18日, 日口蓋誌42(2):150頁, 2017.
- 41) 北見公平, 小松義広, 齋藤 功: BRCA1およびBRCA2を介したDNA修復機能は口蓋の発生に重要である. 第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2017年5月17日-18日, 日口蓋誌42(2):163頁, 2017.
- 42) 児玉泰光, 丹原 惇, 市川佳弥, 大湊 麗, 深井 真澄, 渡部桃子, 永井孝宏, 小山貴寛, 永田昌毅, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤 功, 高木律男: 二段階口蓋形成術施行片側性唇顎口蓋裂児におけるHuddart/Bodenham Indexを用いた咬合評価. 第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2017年5月17日-18日, 日口蓋誌42(2):166頁, 2017.
- 43) 新島綾子, 森田修一, 丹原 惇, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における正貌パターン分類. 平成29年度新潟歯学会総会, 新

潟, 2017年4月15日, 新潟歯学会雑誌47(1):51頁, 2017.

#### 【受賞】

- 1) 中田樹里, 柿原嘉人, 秋葉陽介, 江口香里, 丹原 惇, 大倉麻里子, 加藤寛子, 泉 健次, 佐伯万騎男, 齋藤 功: ROCK阻害剤の骨代謝および矯正的歯の移動への影響. 平成29年度新潟歯学会学術賞(奨励賞).
- 2) Sakaue K, et al.: Tongue pressure production during swallowing in patients with mandibular prognathism. J Oral Rehabil 43(5): 348-355, 2016.平成29年度日本矯正歯科学会学術奨励賞.
- 3) 栗原加奈子, 福井忠雄, 坂上 馨, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 成人前歯部開咬症の舌突出が嚙下時舌圧発現様相に与える影響. 第76回日本矯正歯科学会学術大会優秀発表賞.
- 4) 阿部 遼, 福井忠雄, 坂上 馨, 林 孝文, 齋藤 功: 超音波診断装置を用いた個性正常咬合者と骨格性下顎前突症患者の嚙下時舌運動の比較. 第27回日本顎変形症学会総会・学術大会優秀ポスター賞.
- 5) 北見公平, 小松義広, 齋藤 功: BRCA1およびBRCA2を介したDNA修復機能は口蓋の発生に重要である. 第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会優秀ポスター賞.

#### 【研究会発表】

- 1) 網谷季莉子, 竹山雅規, 丹原 惇, 高橋功次朗, 大嶋康義, 小林正治, 齋藤 功: 閉塞性睡眠時無呼吸症の重症度と顎顔面形態、性別、年代ならびにBMIとの関連. 第14回新潟睡眠呼吸障害研究会, 新潟, 2017年11月25日.
- 2) 福井忠雄: PCRを伴う上顎前突・開咬症例. 第39回与五沢矯正研究会, 名古屋, 2017年4月17日
- 3) 福井忠雄: 下顎前突・開咬症例. 第39回与五沢矯正研究会, 名古屋, 2017年4月17日
- 4) 福井忠雄: 成人上顎前突症例. 第39回与五沢矯正研究会, 名古屋, 2017年4月17日
- 5) 竹山雅規: 下顎両側第二大臼歯の埋伏を伴う上咬合症例. 第39回与五沢矯正研究会, 名古屋, 2017年4月17日.

#### 【その他】

- 1) 福井忠雄: 矯正第一期治療の現状(いつ矯正医へ紹介したら良いか). 平成29年度沼田利根歯科医師会学術講演会, 沼田, 2017年8月19日